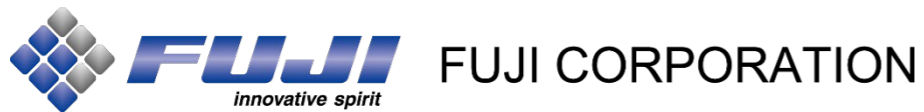


東証プライム・名証プレミア

証券コード：6134

2023年度 第1四半期 株式会社 FUJI 決算説明資料

2023年8月



目次

- ◆ 1. 第1四半期決算の概要
- ◆ 2. 2023年度 業績予想
- ◆ 3. カーボンニュートラルに向けて



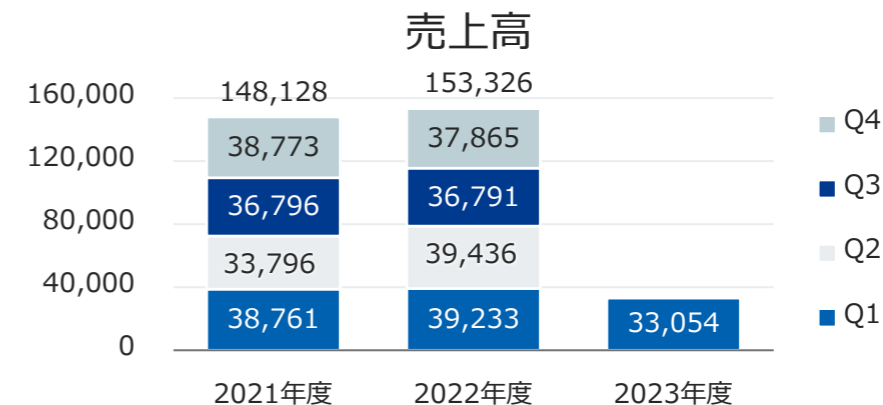
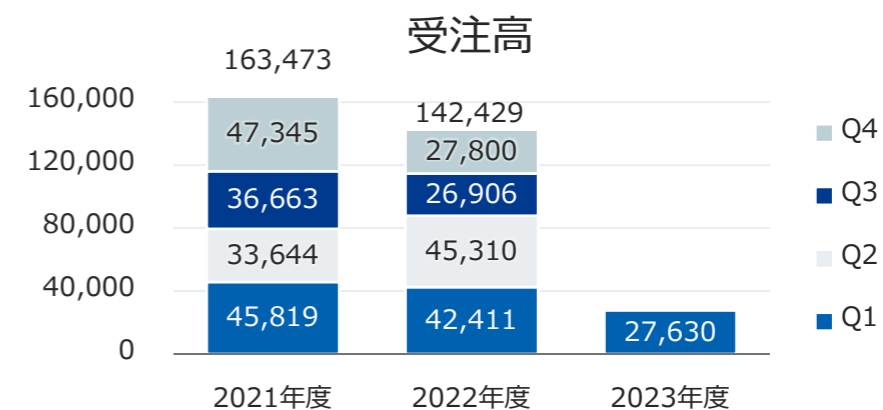
1. 第1四半期決算の概要

2023年度 第1四半期 業績

■ 世界的に設備投資に対し慎重姿勢、減収減益

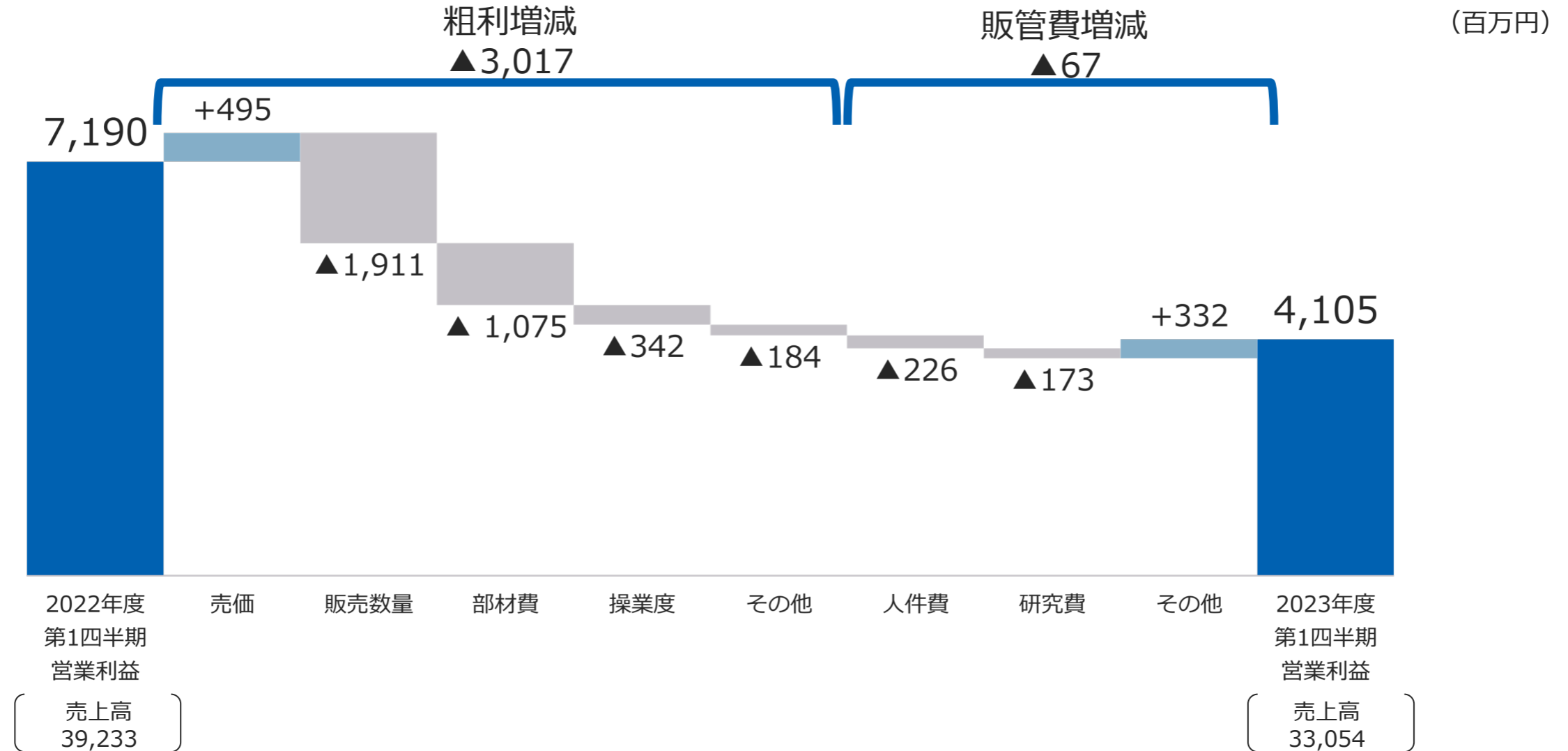
(百万円)

	2022年度 Q1実績	2023年度 Q1実績	対前年同期	
			増減額	増減率
受注高	42,411	27,630	▲14,781	▲34.9%
売上高	39,233	33,054	▲6,178	▲15.7%
営業利益	7,190	4,105	▲3,084	▲42.9%
経常利益	8,538	5,023	▲3,514	▲41.2%
四半期純利益	5,935	3,396	▲2,538	▲42.8%



営業利益増減分析

■ 顧客MIXによる売価改善の一方で、材料費高騰・販売数量減の影響が大きく3,084百万円の減益



B/Sサマリー

(百万円)

	2022年度期末	2023年度Q1期末	対前期増減額	増減要因など
流動資産	176,750	171,707	▲5,043	
現金及び預金	59,784	63,694	+3,909	
受取手形及び売掛金	42,089	36,307	▲5,781	債権の回収により減少
たな卸資産	61,846	64,399	+2,552	
固定資産	77,416	82,775	+5,358	
有形固定資産	28,271	31,788	+3,516	建設仮勘定 +3,735
無形固定資産	24,269	23,803	▲466	
のれん	10,570	10,284	▲286	
投資その他の資産	24,875	27,184	+2,308	投資有価証券 +2,853
資産合計	254,167	254,482	+315	
流動負債	27,569	25,507	▲2,062	未払法人税等 ▲2,320
支払手形及び買掛金	9,084	7,649	▲1,434	部材先行発注の減少
固定負債	1,493	1,702	+209	繰延税金負債 +170
純資産	225,104	227,273	+2,168	
株主資本	209,873	207,549	▲2,324	自己株式取得分 ▲1,861
その他の包括利益	15,114	19,605	+4,490	円安による為替換算調整勘定 +2,582
負債純資産合計	254,167	254,482	+315	
自己資本比率	88.5%	89.3%	-	

ロボットソリューション事業

自動車や家電製品、通信端末など身近な電子製品。これらの製造に必要不可欠となるのが、プリント基板に電子部品を装着する電子部品実装ロボットです。

FASFORD
TECHNOLOGY



DBシリーズ



AIMEXR



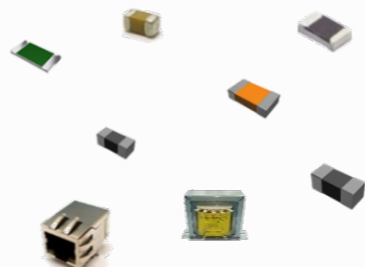
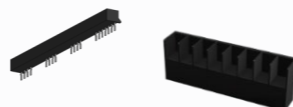
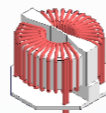
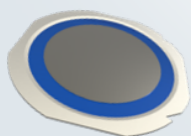
sFAB-SH



NXTR



NXT
Fuji Scalable Placement Platform



Copyright © 2023 by FUJI CORPORATION. All rights reserved.

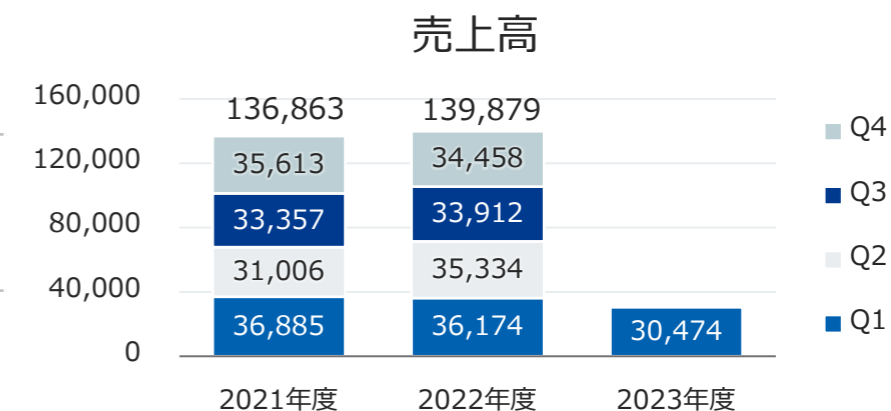
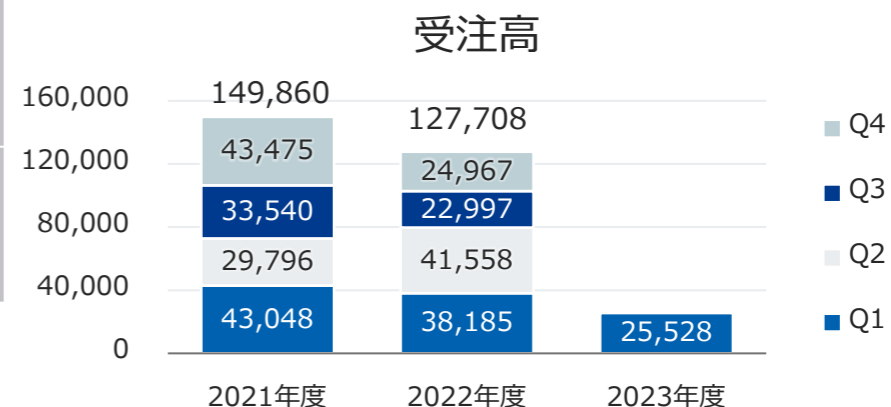


ロボットソリューション事業 業績

■ エレクトロニクス需要の世界的な低迷により、主に北米・他アジアで設備投資が軟調

(百万円)

	2022年度 Q1実績	2023年度 Q1実績	対前年同期	
			増減額	増減率
受注高	38,185	25,528	▲12,656	▲33.1%
売上高	36,174	30,474	▲5,700	▲15.8%
営業利益	8,181	5,320	▲2,861	▲35.0%
受注残高	59,308	40,182	▲19,126	▲32.2%

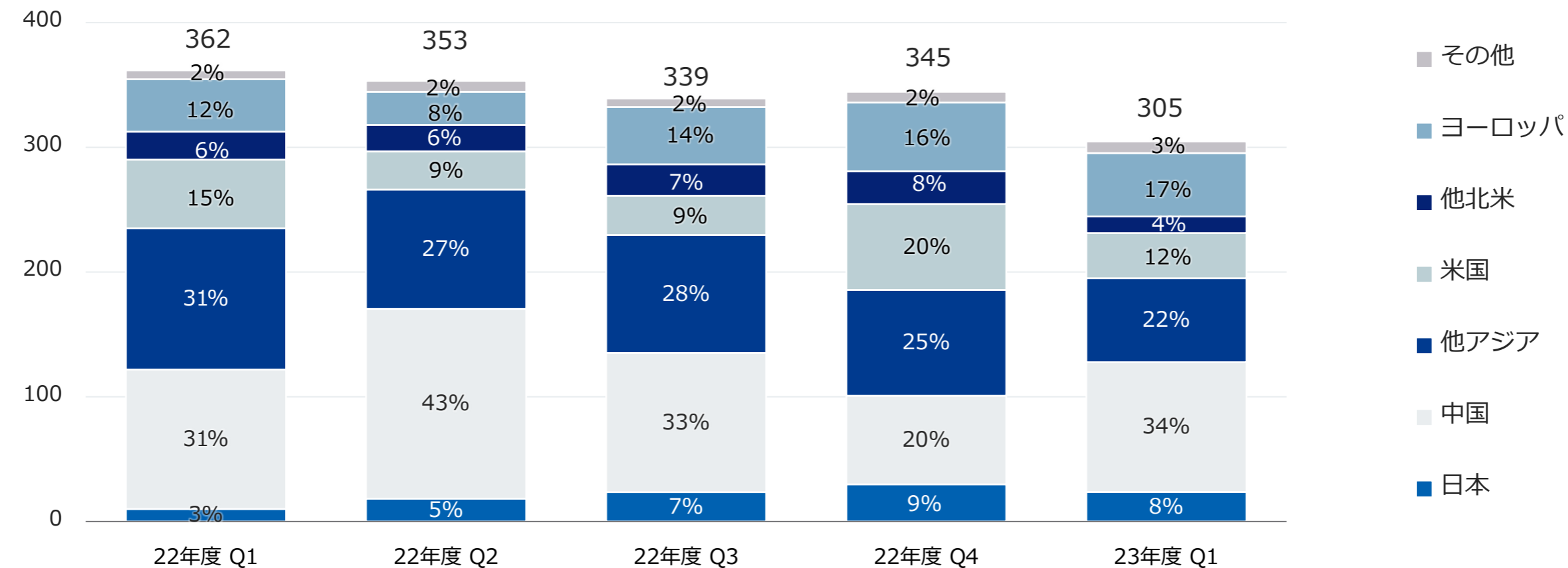


ロボットソリューション事業 地域別売上高

■ 中国・欧州：一定量の需要を確保

■ 北米：設備投資に減速感

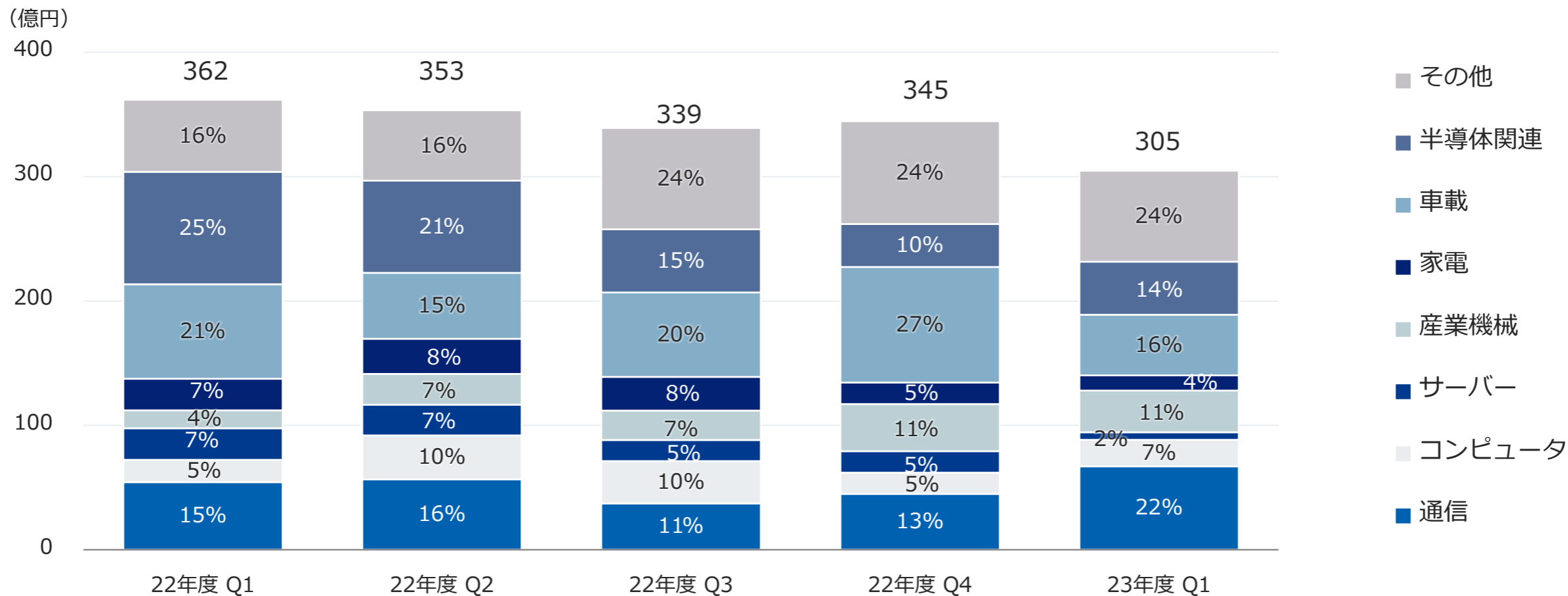
(億円)



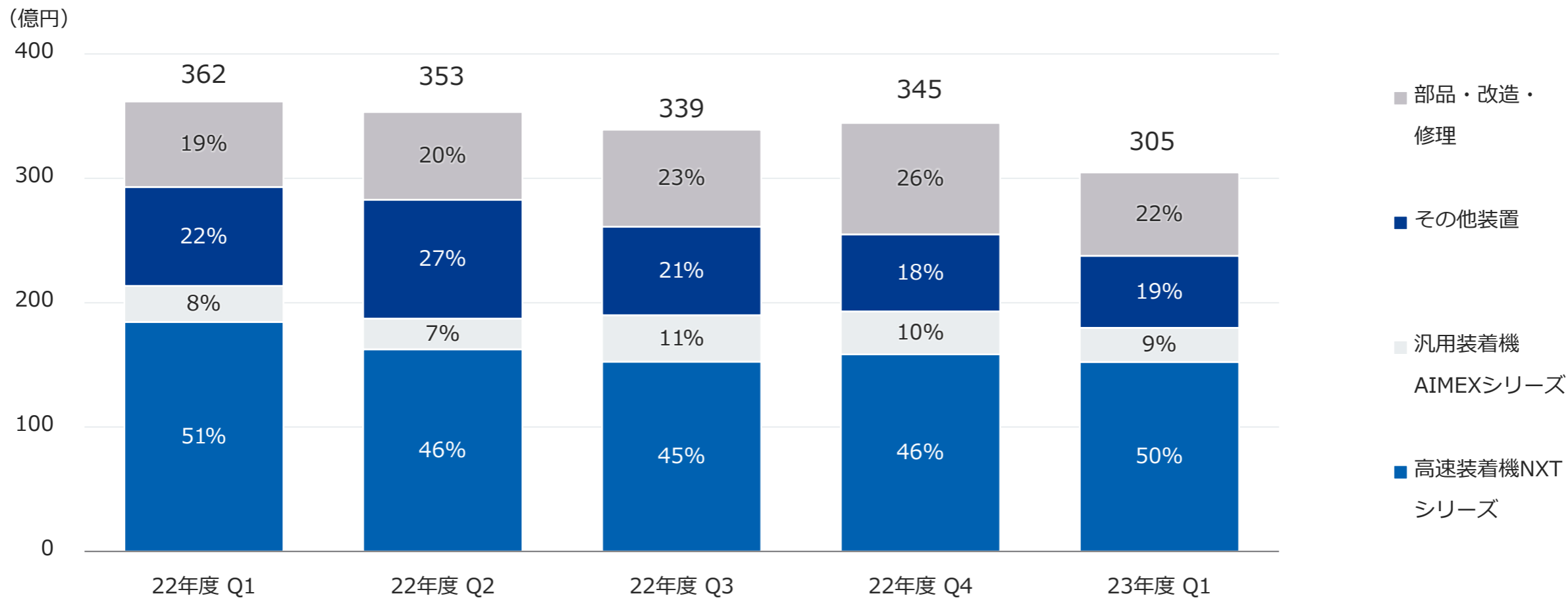
ロボットソリューション事業 業種別売上高

■ 中国での通信関連（主にスマホ端末）需要増

■ 半導体関連は軟調に推移



ロボットソリューション事業 機種別売上高



マシンツール事業

自動車や産業用機械を構成する高精度な加工部品。これらを作り出すため金属素材を切削・加工する役割を担うのが「マザーマシン」とも呼ばれる工作機械です。



複合加工機

GYROFLEX



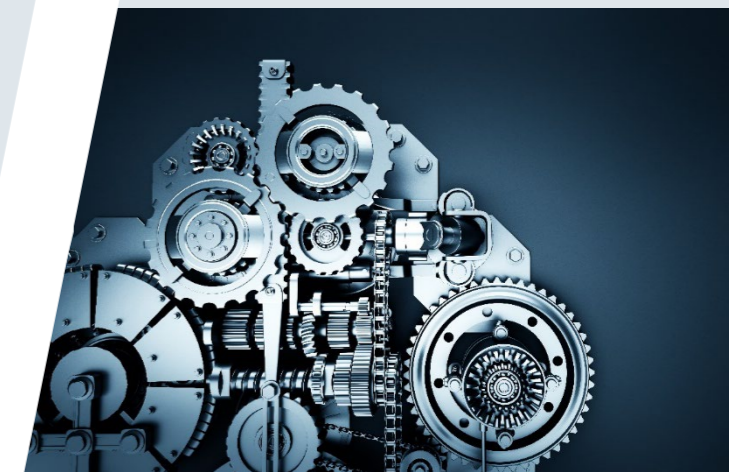
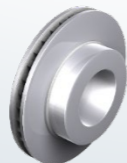
正面2スピンドル旋盤

CS SERIES



対向2スピンドル旋盤

ANW SERIES

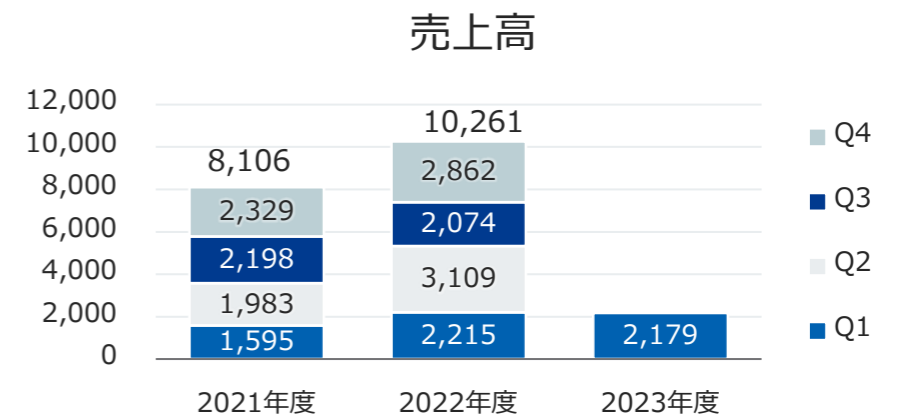
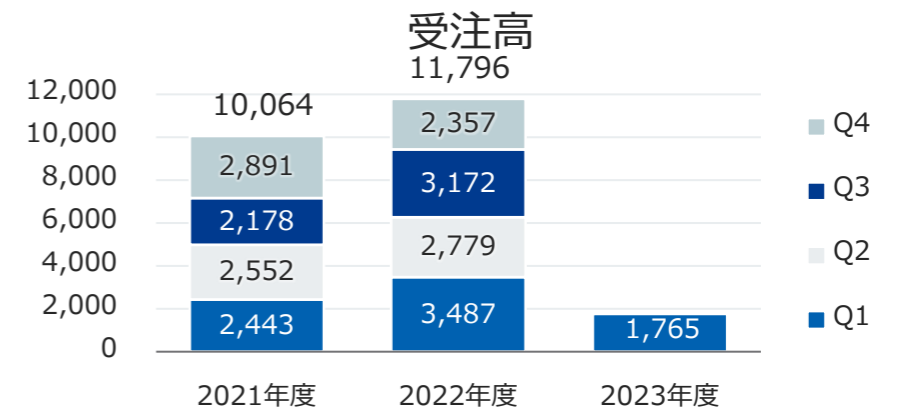


マシンツール事業 業績

■ 米州を中心にEV関連の設備投資が増加傾向にあるが、減収減益

(百万円)

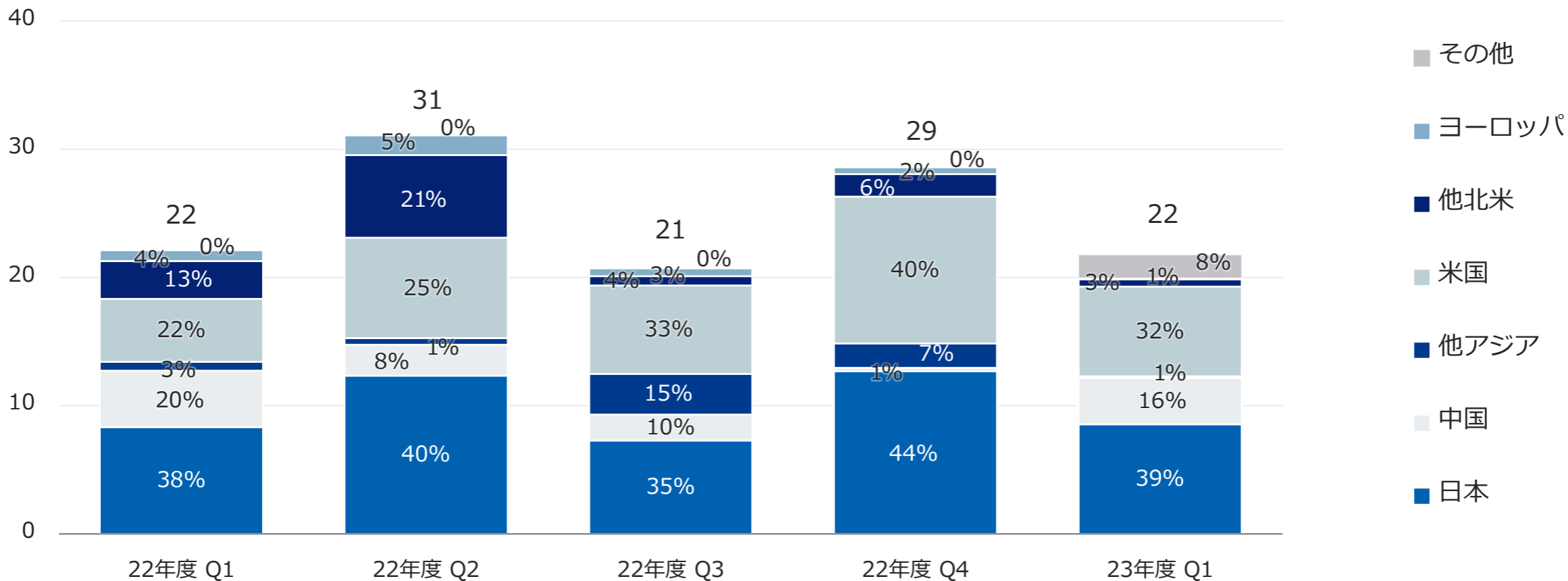
	2022年度 Q1実績	2023年度 Q1実績	対前年同期	
			増減額	増減率
受注高	3,487	1,765	▲1,722	▲49.4%
売上高	2,215	2,179	▲36	▲1.6%
営業利益	▲112	▲246	▲133	-
受注残高	6,917	6,765	▲151	▲2.2%



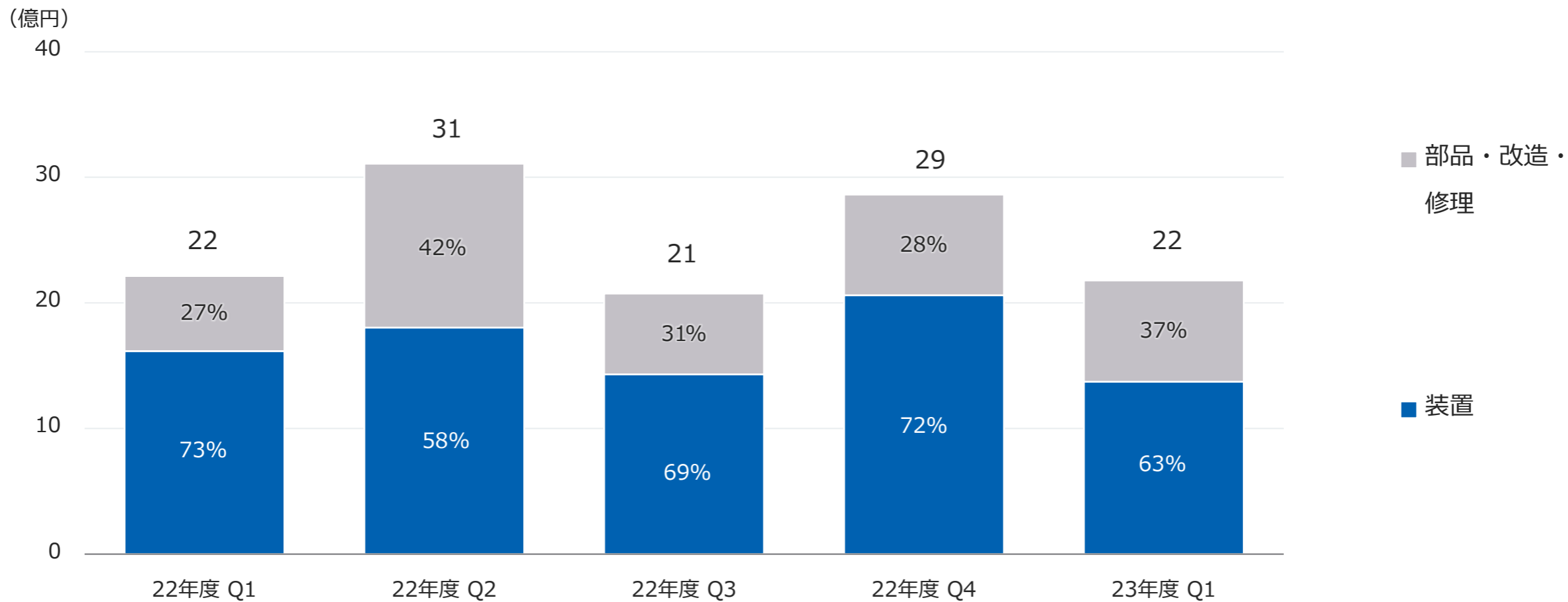
マシンツール事業 地域別売上高

- 日本：自動車関連の設備投資は回復傾向
- 中国：設備投資への慎重姿勢が継続

(億円)



マシンツール事業 機種別売上高





 2. 2023年度 業績予想



業績予想

- エレクトロニクス関連需要の世界的な減速を加味し、減収の見通し
- 各利益減については、販売数量減および材料費高騰等を考慮

(百万円)

	2022年度 通期実績	2023年度通期予想				
		2023年5月11日 公表予想	今回予想	対前期実績		対従来予想
				増減額	増減率	増減額
受注高	142,429	140,000	123,500	▲18,929	▲13.3%	▲16,500
売上高	153,326	142,000	132,000	▲21,326	▲13.9%	▲10,000
営業利益	27,108	20,500	15,200	▲11,908	▲43.9%	▲5,300
営業利益率	17.7%	14.4%	11.5%	—	—	—
経常利益	29,016	20,700	15,600	▲13,416	▲46.2%	▲5,100
当期純利益	20,454	14,000	10,800	▲9,654	▲47.2%	▲3,200

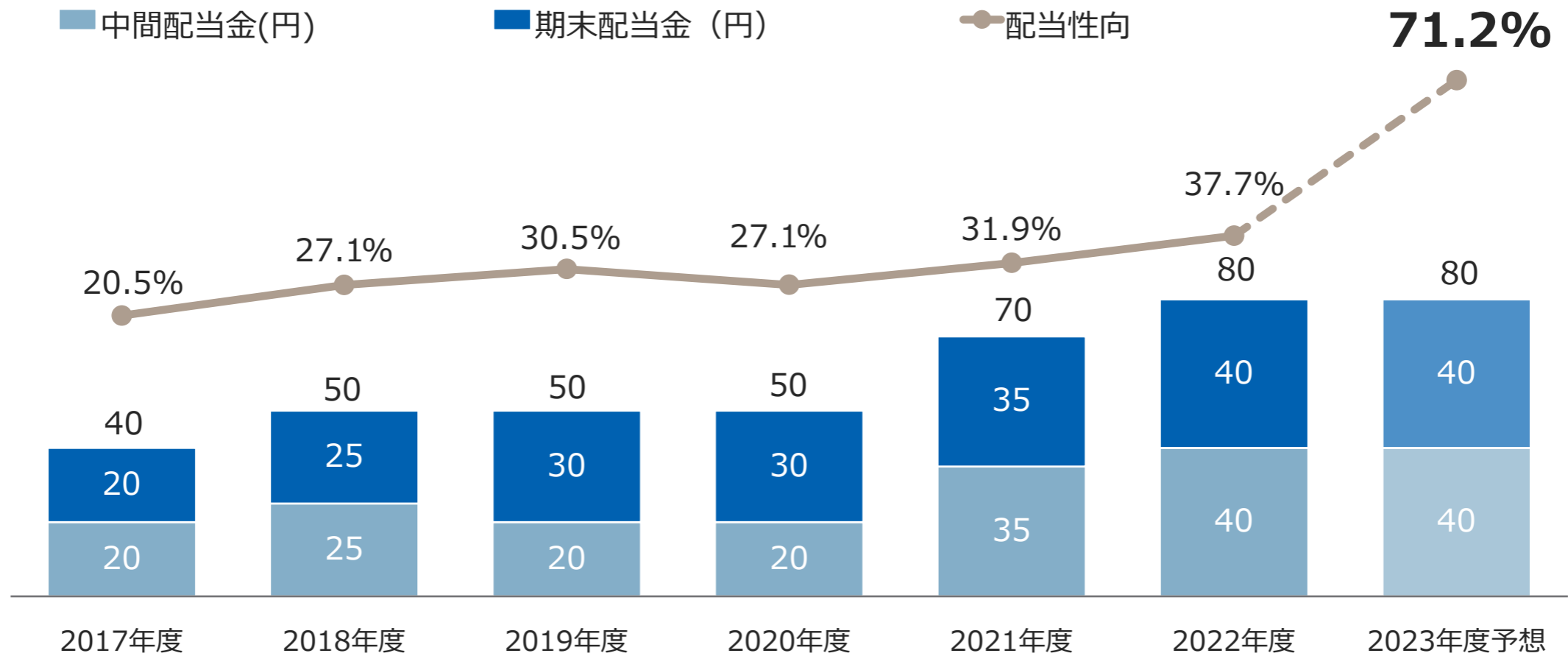
セグメント別 受注・売上通期予想

(百万円)

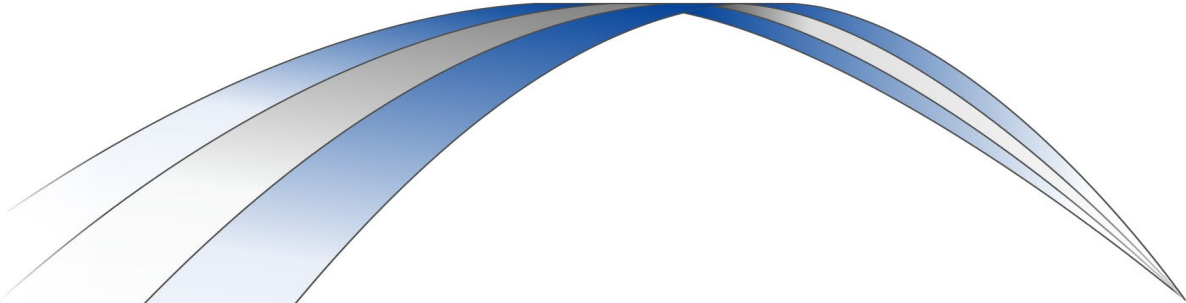
		2022年度 通期実績	2023年度通期予想				
			2023年5月11日 公表予想	今回予想	対前期実績		対従来予想
					増減額	増減率	増減額
ロボット ソリューション 事業	受注高	127,708	125,000	108,000	▲19,708	▲15.4%	▲17,000
	売上高	139,879	127,000	117,000	▲22,879	▲16.4%	▲10,000
	受注残	45,127	43,127	36,127	▲9,000	▲19.9%	▲7,000
マシンツール 事業	受注高	11,796	12,500	13,000	+1,203	+10.2%	+500
	売上高	10,261	12,500	12,500	+2,238	+21.8%	±0
	受注残	7,179	7,179	7,679	+500	+7.0%	+500
その他 事業	受注高	2,923	2,500	2,500	▲423	▲14.5%	±0
	売上高	3,185	2,500	2,500	▲685	▲21.5%	±0
	受注残	387	387	387	±0	-	±0
合計	受注高	142,429	140,000	123,500	▲18,929	▲13.3%	▲16,500
	売上高	153,326	142,000	132,000	▲21,326	▲13.9%	▲10,000
	受注残	52,695	50,695	44,195	▲8,500	▲16.1%	▲6,500

配当金

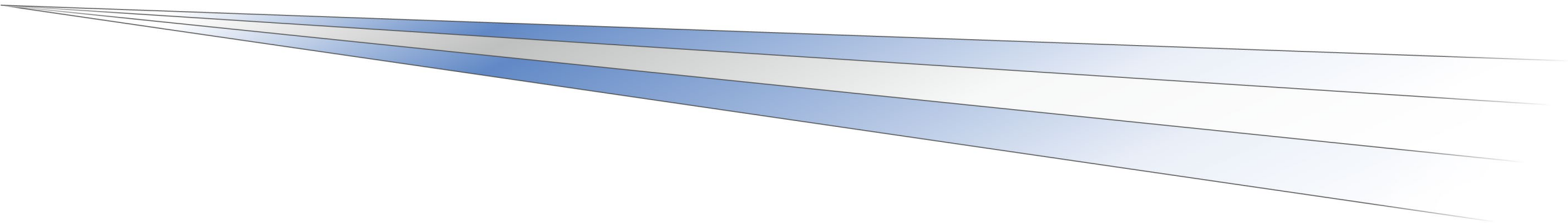
■ 配当については変更なし



普通配当 40.00
記念配当 10.00



❖ 3. カーボンニュートラルに向けて



カーボンニュートラル実現に向けた長期目標を策定

- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた長期目標及び戦略ロードマップを策定しました。
グループ全体そしてサプライチェーン全体で気候変動対応を進めていきます。

	2030年まで	2050年まで	主な施策
Scope1,2 FUJIグループの自社活動 におけるCO ₂ 排出量削減	CO ₂ 排出量 46% 削減 (単体 2013年度比)	カーボンニュートラルへ チャレンジ (連結)	<ul style="list-style-type: none">・ 太陽光発電システムの設置・ CO₂フリー電力調達段階的拡大・ 電力使用量の見える化
Scope3 サプライチェーン全体を 通じた社会への取り組み	売上原単位CO ₂ 排出量 30% 削減 (2021年度比)	売上原単位CO ₂ 排出量 80% 削減 (2021年度比)	<ul style="list-style-type: none">・ 製品の省エネ化・ 環境貢献製品の開発・ サプライヤーとの連携強化

カーボンニュートラル戦略ロードマップは[当社環境HP](#)よりご覧ください。

FUJIグループの自社活動におけるCO₂排出量削減への取り組み

- ・ 太陽光発電システムの設置
- ・ 使用電力の見える化

- ・ CO₂フリー電力の利用

グリーンエネルギー社会構築に向けた
創エネ (太陽光発電) & 蓄エネ (蓄電池) &
省エネ (見える化) による循環型スマートファクトリーの実現

①つくる "創エネ"
自然の恵みを最大活用 (太陽光) !!

②ためる "蓄エネ"
エネルギー利用の幅を広げる蓄電池システム!!

③みえる "省エネ"
使用電力の管理・データ化 (見える化) !!

3要素を循環スマートファクトリー

豊田事業所部品加工工場

CO₂フリー電気
購入実績証明書

企業名 株式会社FUJI
 需要場所 本社
 所在地 愛知県知立市山町茶碓山19番地
 購入期間 2022年4月~2023年3月
 購入電力量 1,546,176 kWh

本書は中部電力ミライズ株式会社の販売する「CO₂フリー電気」の購入実績を証明するものです。
 「CO₂フリー電気」をご購入いただくことにより、お客様のCO₂排出削減とともに再生可能エネルギー普及・拡大に貢献いたします。

2023年4月1日
 中部電力ミライズ株式会社
 同時営業部長 法人営業部
 取締役部長 山口 秀樹

中部電力ミライズ

※「CO₂フリー電気」とは、「福島県東部電力供給圏及び関東甲信越電力供給圏において(2022年4月1日)2023年3月31日までに15年、稼働期間200136時間、全容量1000MWに達する、11機1ユニット稼働を開始した福島県東部電力供給圏の再生可能エネルギー、中部電力の再生可能エネルギーの供給した再生可能エネルギー、再生可能エネルギーの供給した再生可能エネルギー、再生可能エネルギーの供給した再生可能エネルギー」を指します。

FUJI

FASFORD TECHNOLOGY

山梨県産 CO₂フリー電気
を使用しています

エメラルドグリーンダム湖
早川町奈良田 西山ダム

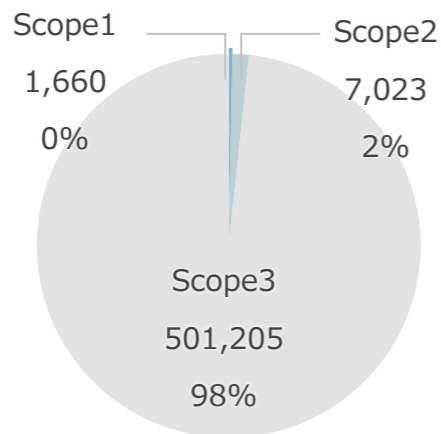
やまなしパワー-NEXT「ふるさと水カプラン」

山梨 TEPCO
東京電力エナジーパートナー

ファスフォードテクノロジー

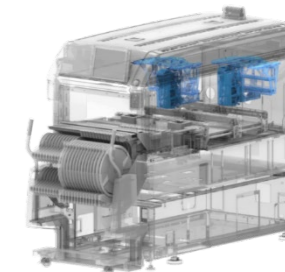
サプライチェーン全体でのCO₂排出量削減に向けた取り組み

■ 2022年度 Scope別CO₂排出量 (t-CO₂)



■ カテゴリー1削減へ

- ・ サプライヤーのCO₂排出量を簡易的な算出から実績算出へ
- ・ 製品の構成部材の軽量化

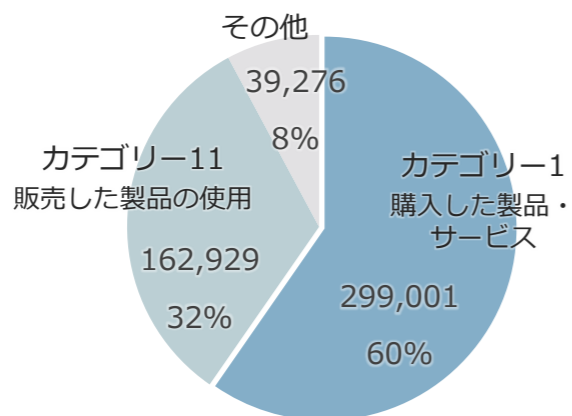


■ カテゴリー11削減へ

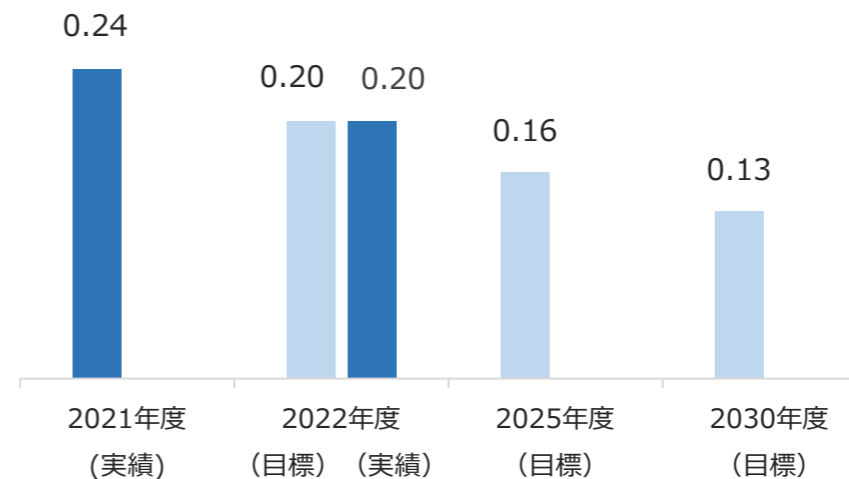
- ・ 省エネ製品の開発

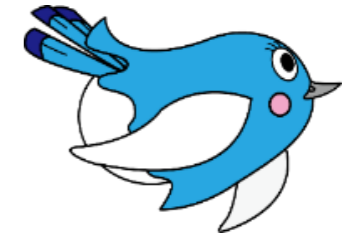


■ 2022年度 Scope3 カテゴリ別CO₂排出量 (t-CO₂)



電子部品実装ロボット「NXTR」の電子部品10,000点当たりの消費電力 (kWh)





【本資料お取扱い上のご注意】

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予測ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる場合があります。

